

例会南都八景1日コース

2025年2月

No.	時間	ポイント	へえ～？	No.	時間	ポイント	へえ～？
1	10:00	近鉄奈良駅	挨拶 諸注意 コース概要（平城京図） 興福寺、東大寺について	14	12:40	悠久の森	雰囲気を感じる ディアーライン シカが食べないイラクサ イチイガシ、メタセコイア
2	10:05	行基像	688年生まれ～749年入滅 ボランティアの先駆け 大仏建立の勧進役⇒像の向き 思し召しの柿	15	12:50	東大寺南大門	鎌倉時代の再建 大仏様 重源上人の苦労 金剛力士像 (29人、69日、3000パーツ)
3	10:10	東向商店街	名前の由来 当時の興福寺の力	16	13:10	東大寺鐘⑤	日本三大名鐘 嘸りやまない鐘 鐘楼は鎌倉時代の大仏様と禅宗様
4	10:20	興福寺	藤原氏の氏寺 平城京を見下ろす場所			念仏堂(地蔵堂) 行基堂 俊乗堂	をく霜の 花いつくしき 名も高し ふりぬる寺の 鐙のひびきに
5	10:30	北円堂	藤原不比等（鎌足第2子）の御廟 興福寺で最古（鎌倉時代の再建）	17	13:30	東大寺大湯屋	地蔵菩薩座像 夜泣き地蔵 竹林寺の行基像の模刻 重源上人坐像（国宝） 快慶作「釘打ちの弥陀」
6	10:35	マツグミ	半寄生のヤドリギ ヤドリギの生き方 花と実 実の昔の利用法	18	13:45	東大寺勧進所	風呂敷 浴衣 湯屋の屋根 マルバヤナギ 柳絮 イチョウ 生きている化石（受精） 52段
7	10:40	西金堂跡	光明皇后が母・橘三千代の一周年忌に建立 阿修羅像が祀られていた 金春流発祥の地 石碑	19	14:00	戒壇院	公慶堂、阿弥陀堂、八幡殿 公慶上人坐像、五劫思惟阿弥陀如来 僧形八幡神坐像 10月5日開扉、ケイカ
8	10:55	南円堂藤①	西国33番札所9番 冬嗣が父の供養に創建	20	14:15	佐保川螢⑥ (依水園)	52段の階位（修行の初め⇒如来） 鑑真 戒壇、受戒ってなに？ センダン
9	11:10	猿沢池月②	749年興福寺の放生池として 采女伝説				吉城川は国道369線（奈良街道）を横切って暗渠に入り、奈良女子大学付近で地上に出て、佐保川に合流
10	11:20	会津ハーフ碑	新潟名譽市民 1881年8月1日生				佐保川は春日原始林を源流とし、若草山北側を回り込んで、奈良市街を西進し、新大宮付近で南下、大和郡山市南端で大和川に合流
11	11:30	菩提院大御堂	三作の石子詰 カラタチ ヒトツバタゴなど				飛ぶほたる 影をうつして 佐保川の 浅瀬に深き 心をぞしる
12	11:50	一之鳥居と 影向の松	日本三大木造鳥居の一つ 鏡板の松のモデル 春日若宮おん祭り 御旅所 ムクロジ	21	14:30	轟橋行人⑦	みとりみ池
13	12:00	三笠山雪③	ふたつのみかさやま 三笠山 さして頼べば 白雪の ふかきこころを 神やしるらむ	22	14:40	うち渡る 人めも絶えず 行く駒の 踏みこそ鳴らせ 轰の橋	
14	12:10	春日野鹿④	明治天皇 イチイガシ 春日山 峯の嵐や 寒からむ ふもとの野辺に 鹿そなぬなる			雲井坂雨⑧	村雨の 晴まに越えよ 雲井坂 三笠の山は ほど近くとも
		飛火野	寅食 トイレ		14:50	みとりみ池	まとめ 解散

南都八景：八景の起源は10世紀、北宋で選ばれた湖南省洞庭湖（ドウテン）の瀟湘八景（ショウショウハッケイ）が始まりである。基本は風景の対象物+事象・事物の漢字2文字+2文字である（例えば近江八景では「三井晚鐘・石山秋月・・・」しかし南都八景はこの基本形ではなく風景の対象物+事象・事物を3文字+1文字で表現している（轟橋は例外）室町時代、足利将軍にお供して春日詣でに、僧・蔭涼軒真蘗（イソヨウケンシンゾウ）が風光明媚な風景を日記に記したのが始まりで、我国最初の八景です。